

咳嗽(咳)

患者様情報

来院されるまでの症状

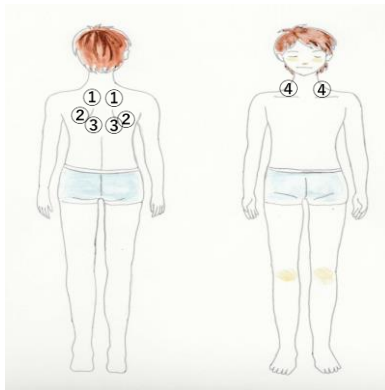
- ・2020年から2週間に1回、定期的に来院されている患者様です。
- ・初診時は右肩の痛みや薬の副作用による湿疹の症状の為来院されていました。
- ・2022年の10月に風邪を引いた後、咳と鼻水が止まらなくなり、夜も眠れない日が3日続いたとのことで治療を始めました。

患 者 様	80 代 男性
初 診	2020 年 4 月
既 往 症	糖尿病、高血圧
他 の 症 状	湿疹、頭痛、肋間神経痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・風邪の症状がある時は、東洋医学的に「肺」の働きを強くすると良いと診立てるので、【肺俞】にお灸をしました。
- ・咳が酷い時は、上背部が硬くなり呼吸が苦しくなるので、【膏肓】【膈俞】を鍼で緩めました。
- ・また、咳を繰り返すと胸鎖乳突筋も張るので【欠盆】を鍼で緩めました。



■ 初診後の経過

- ・2週間後に来院された際に、眠れないほどの咳はほとんど止まったとの事でした。
- ・痰がらみが少し残っているとの事だったので、引き続き治療を継続しています。

使用した主要なツボ

- ①肺俞（ハイユ） ②膏肓（コウコウ）
③膈俞（カクユ） ④欠盆（ケツボン）

■ ひとこと添えさせていただきます

鍼灸は風邪の症状に対して、治療が有効であるとされています。
早めに治療を行うことで、症状を長引かせないので、気になる症状がありましたらお気軽にご相談ください。